

自動車盗の発生状況(令和7年8月末)

街頭
犯罪

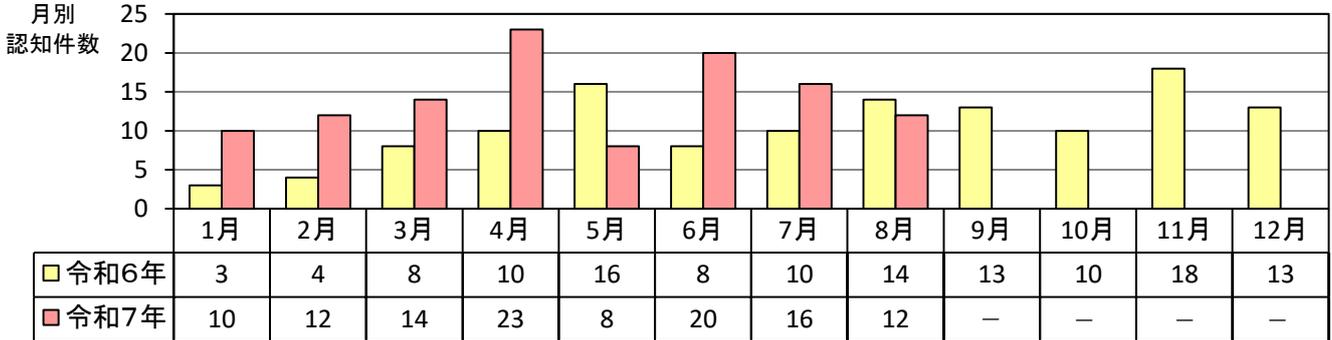
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
115	+42	+57.5%

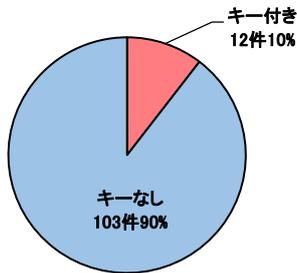
被害回復件数(前年比)	被害回復率(前年比)
21 (+1)	18.3% (-9.1%)

※被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和7年8月末、県内における自動車盗は115件発生、被害総額は約5億1,825万円、前年比+42件(増減率+57.5%)となっており、約2日に1台が盗難被害に遭っています。

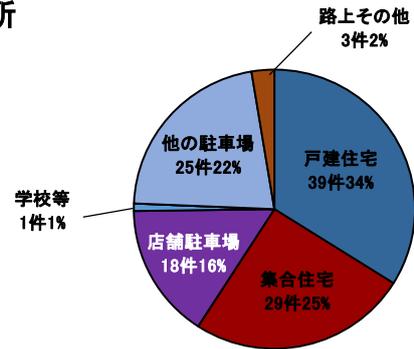


2 被害時におけるキー付きの有無



キーなし被害は90%

3 被害場所



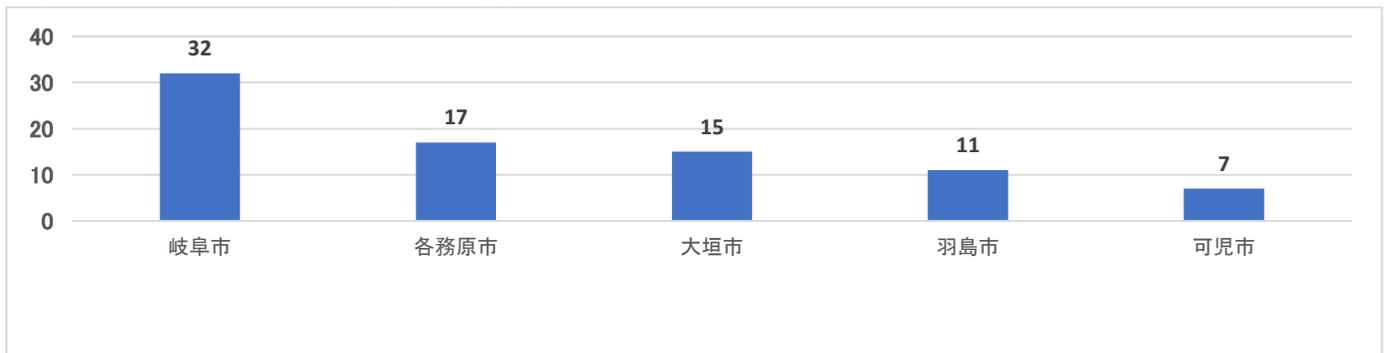
自宅周辺による被害は59%
(自宅周辺：戸建住宅・集合住宅)

4 被害車両の種別

車種別認知件数	乗用車	貨物自動車	特殊自動車	他の自動車
	92	3	4	0

※ 未遂 16件

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 自動車盗難防止のポイント ～

- 短時間の駐車でも車から離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ドアロック」をしましょう。
- 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
- ハンドルロック、タイヤロック、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

オートバイ盗の発生状況(令和7年8月末)

街頭
犯罪

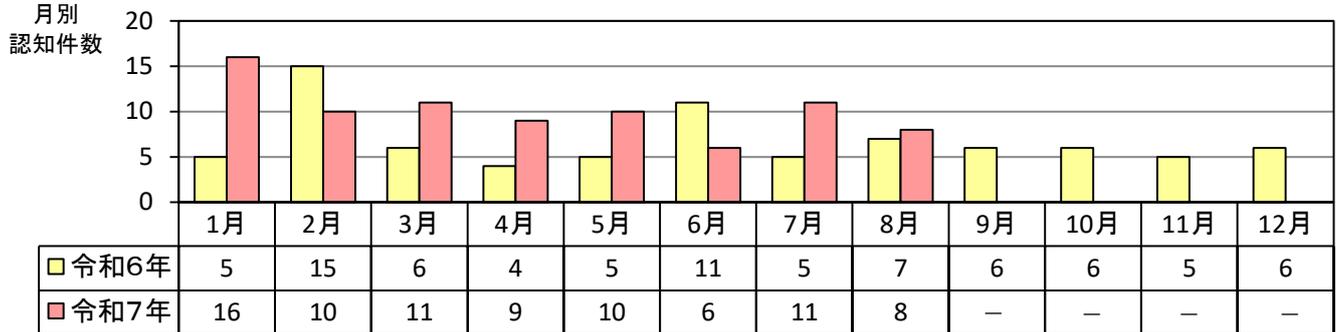
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
81	+23	+39.7%

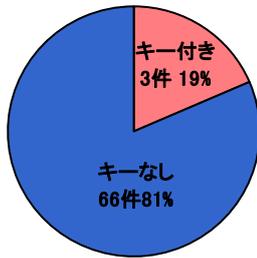
被害回復件数(前年比)	被害回復率(前年比)
43	53.1%
+22	+16.9%

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和7年8月末、県内におけるオートバイ盗は81件発生、前年比+23件(増減率+39.7%)となっており、81件中71件は原動機付自転車の盗難被害になります。

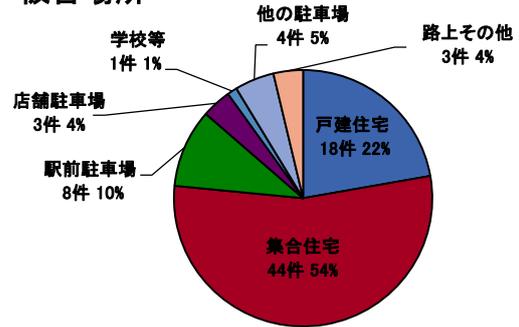


2 被害時におけるキー付きの有無



キーなし被害が81%

3 被害場所



自宅周辺による被害は76%
(自宅周辺：戸建・集合住宅)

4 被害者の年代

年齢別認知件数	未成年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
	4	29	14	10	9	14

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ オートバイ盗難防止のポイント ～

1. オートバイから離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ハンドルロック」をしましょう。
2. U字ロックやワイヤーロックで「ツーロック」をして、バイクカバーを掛けましょう。
3. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。

自転車盗の発生状況(令和7年8月末)

街頭
犯罪

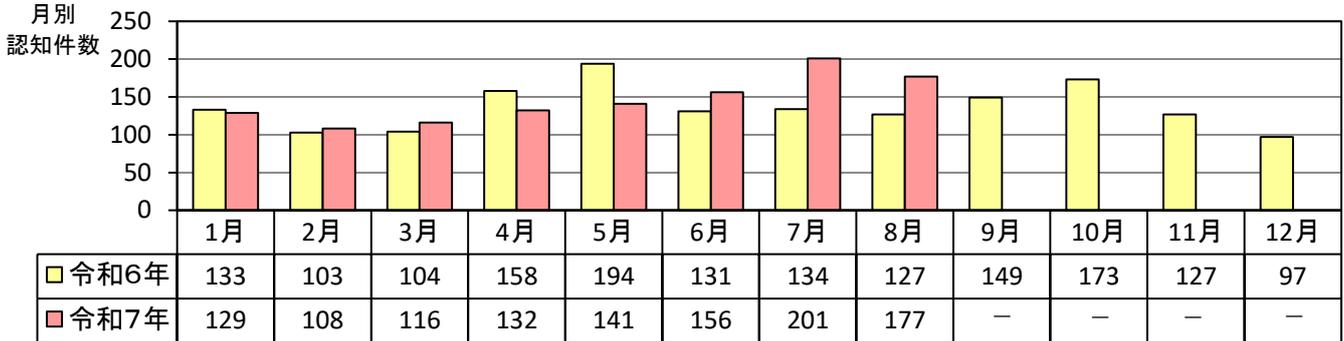
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
1,160	+76	+7.0%

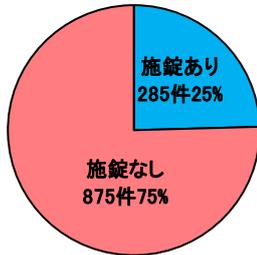
被害回復件数(前年比)	被害回復率(前年比)
610 +63	52.6% +2.1%

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和7年8月末、県内における自転車盗は1,160件発生、前年比+76件(増減率+7.0%)となっています。また、自転車盗は刑法犯全体の約13.8%を占め、1日平均約4台が盗難被害に遭っています。

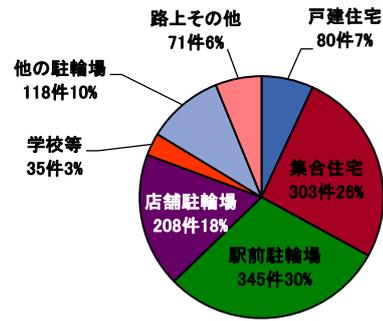


2 被害時における施錠の有無



無施錠被害は75%

3 被害場所

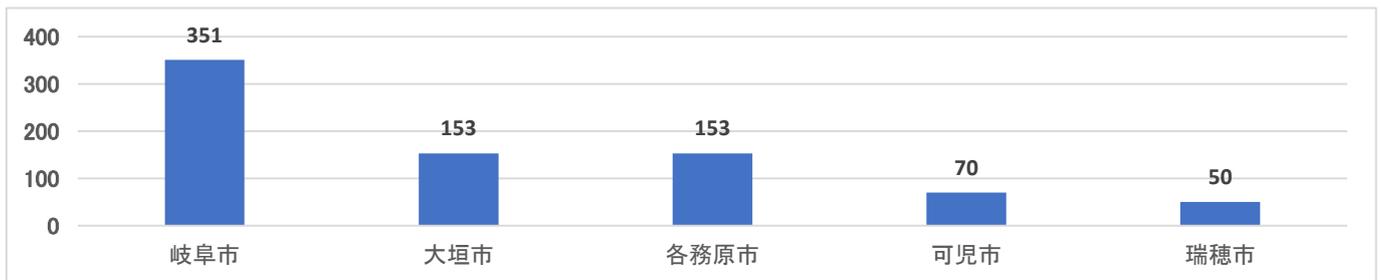


駐輪場による被害は58%
駐輪場(駅前駐輪場、店舗駐輪場、他の駐輪場)

4 被害者の職業

職業別	小学生	中学生	高校生	大学生	専修生等	学生以外
認知件数	12	87	373	172	60	456
(うち無施錠)	11	69	304	137	50	304

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 自転車盗難防止のポイント ～

1. 少しの時間でも自転車から離れるときは、必ず鍵を掛けましょう。
2. 駐輪する際の施錠は、「ツーロック」をしましょう。
3. 駐輪する際は、防犯設備の整った駐輪場を利用しましょう。

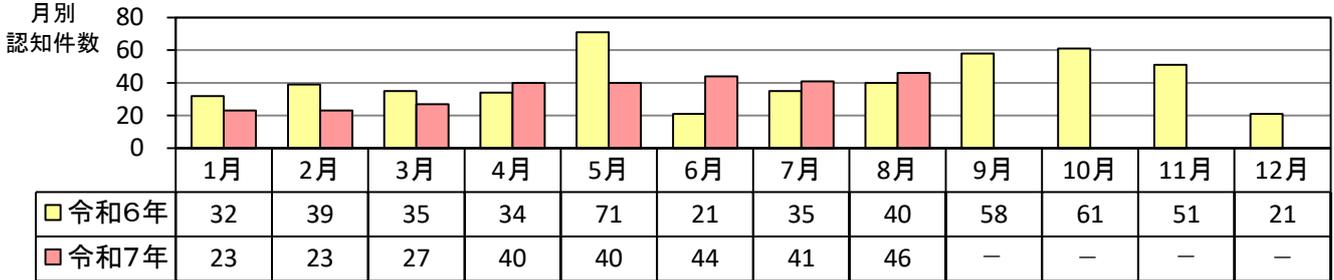
車上ねらいの発生状況(令和7年8月末)

街頭
犯罪

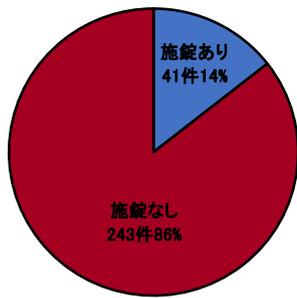
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
284	-23	-7.5%

令和7年8月末、県内における車上ねらいは284件発生、被害総額は約1,542万円、前年比-23件(増減率-7.5%)となっており、1日平均約1台が盗難被害に遭っています。
車上ねらい被害のうち243件(約86%)は無施錠の状態に被害に遭っています。

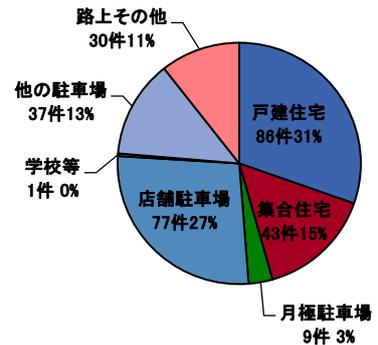


2 被害時における施錠の有無



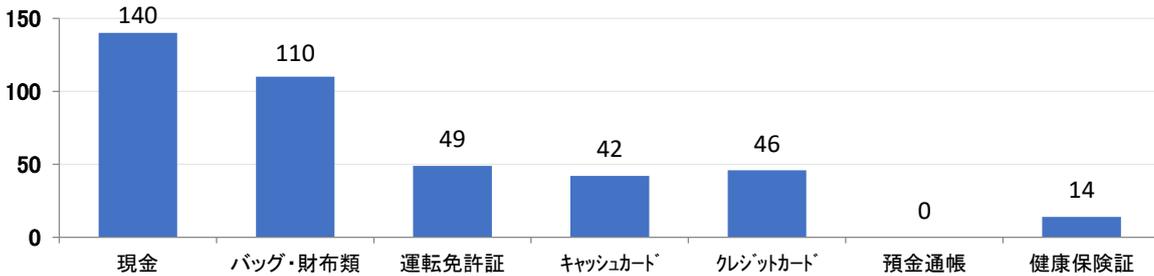
無施錠時の被害が86%

3 被害場所

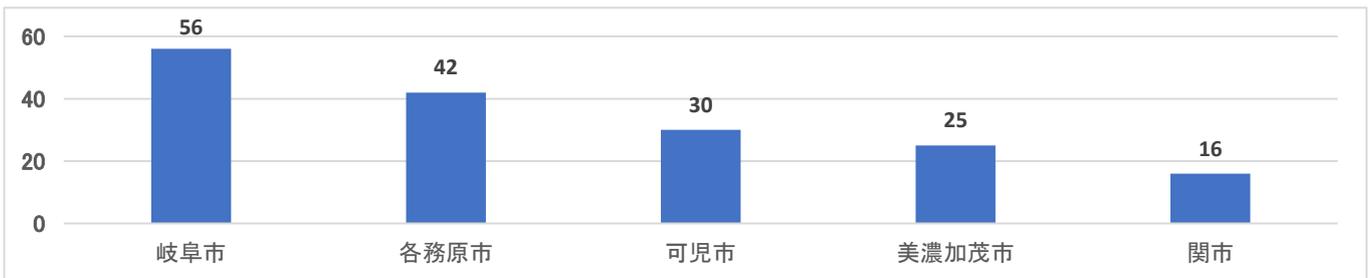


自宅周辺による被害は49%
(自宅周辺：戸建住宅、集合住宅、月極駐車場)

4 主な被害品(被害品を複数計上)



5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 車上ねらい被害防止のポイント ～

1. 駐車時には、必ず「施錠」をして、車内には「カバンや貴重品を放置しない」ようにしましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. 振動センサーなどの盗難防止装置を活用しましょう。

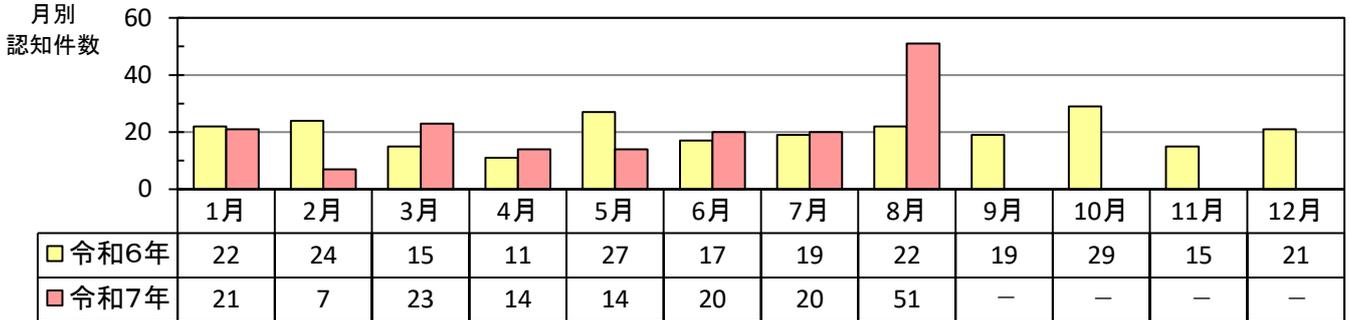
部品ねらいの発生状況(令和7年8月末)

街頭
犯罪

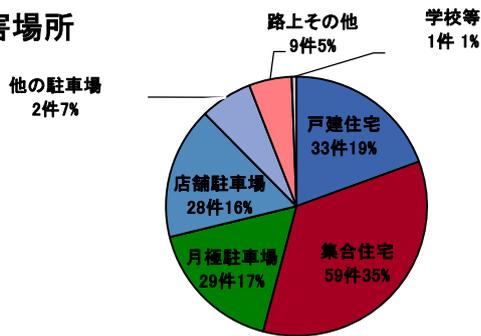
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
170	+13	+8.3%

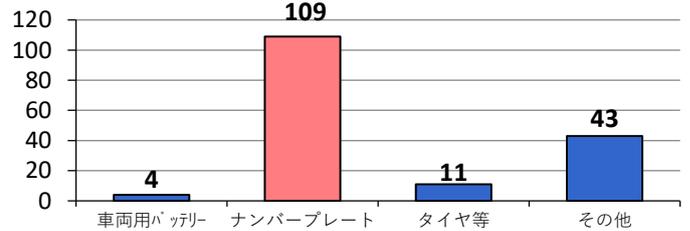
令和7年8月末、県内における部品ねらいは170件発生、被害総額は約513万円、前年比+13件(増減率+8.3%)となっており、1日に約1台が被害に遭っています。



2 被害場所



3 主な被害品

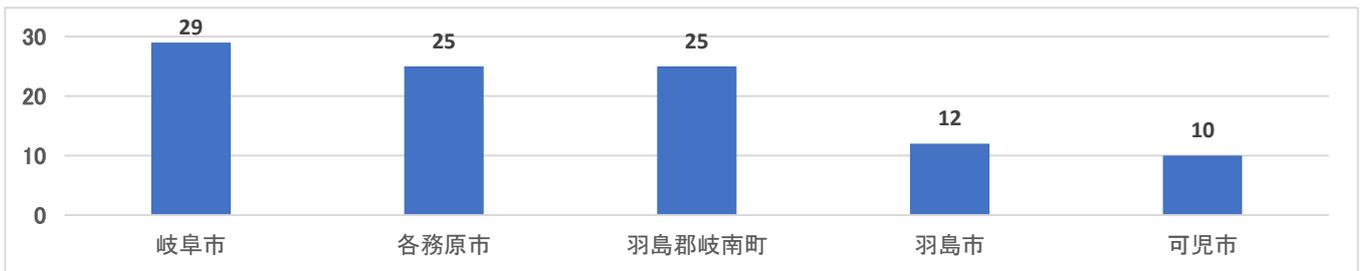


自宅周辺による被害は71%
(自宅周辺：戸建住宅・集合住宅・月極駐車場)



ナンバープレートやその他の車両部品(外装等)の被害が多い。
その他の車両部品(外装等)としてバッテリー、ヘッドライト、エンブレム等が狙われている。
被害を防ぐには、
○ ナンバープレート盗難防止ネジ
○ タイヤ盗難防止ナット
○ バッテリー盗難防止ロックナット
などによる**車両部品に対する防犯対策**が必要!

4 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 部品ねらい被害防止のポイント ～

1. ナンバープレートには、「盗難防止ネジ」を装着しましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. ロックナット、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

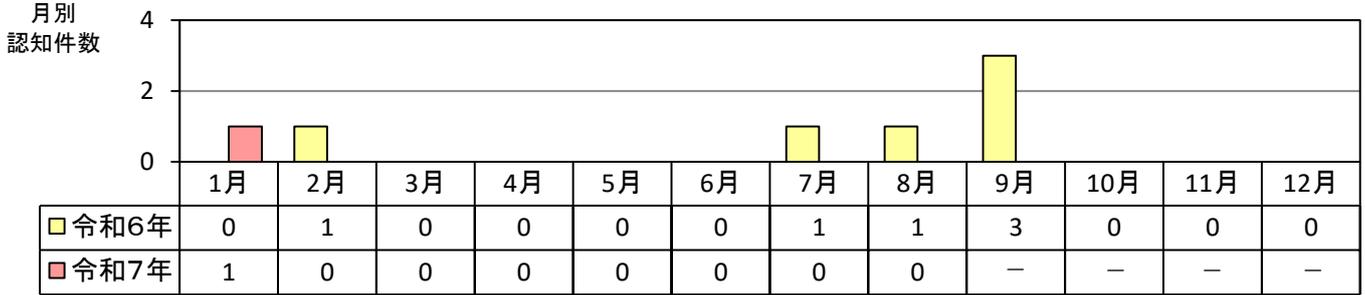
ひったくりの発生状況(令和7年8月末)

街頭
犯罪

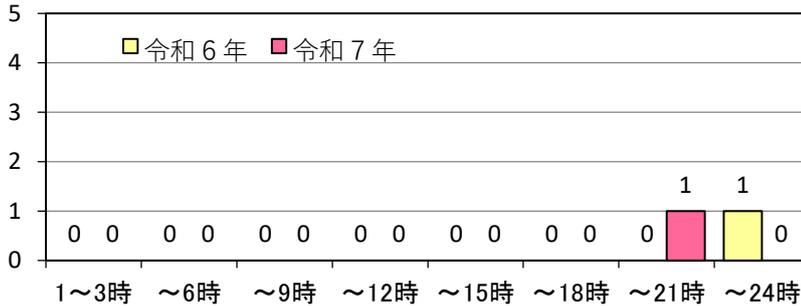
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
1	-2	-66.7%

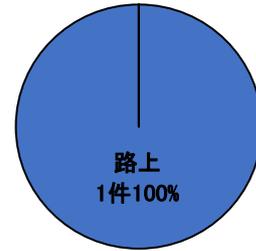
令和7年8月末、県内のひったくりは1件発生、前年比-2件となっています。



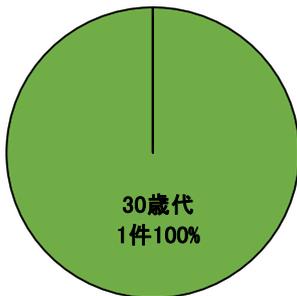
2 時間帯別発生状況



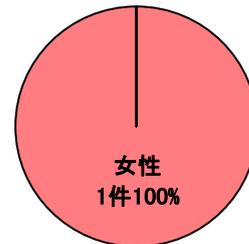
3 場所別発生状況



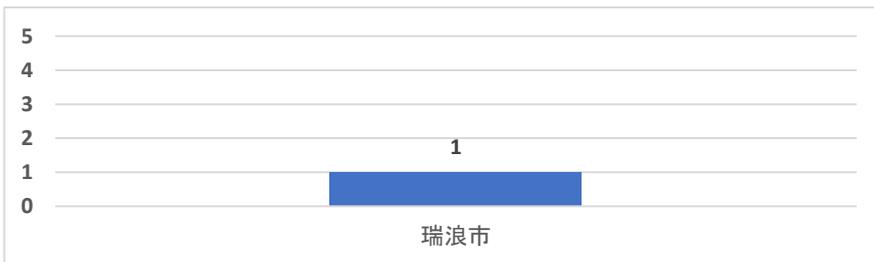
4 被害者の年齢



5 被害者の性別



6 市町村別発生状況



～ ひったくり被害防止のポイント ～

1. 道路や歩道では、車道の反対側にカバンや荷物を持ちましょう。
2. 自転車のカゴには、ひったくり防止のカバーやネットを取り付けるのが被害防止に有効です。
3. 金融機関、ATM等を利用した後などは、特に周囲に注意してください。

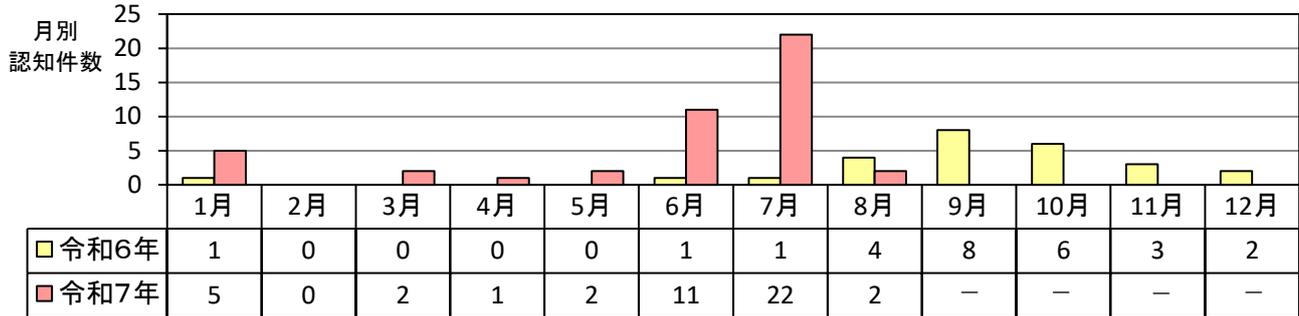
自販機ねらいの発生状況(令和7年8月末)

街頭
犯罪

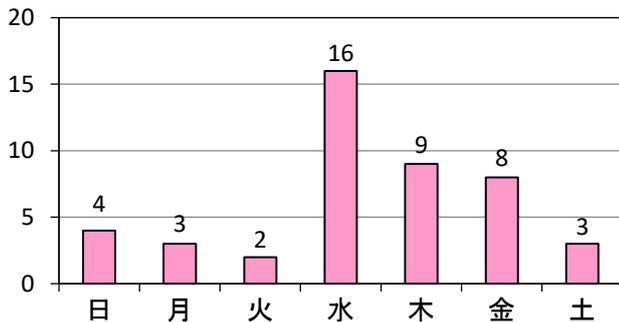
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
45	+38	+542.9%

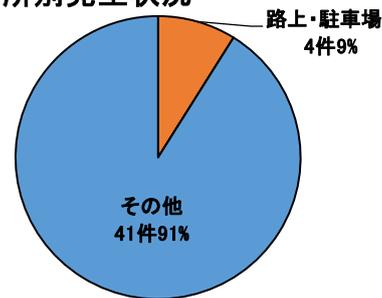
令和7年8月末、県内における自販機ねらいは45件発生、被害総額は約99万円、前年比+38件(増減率+542.9%)となっており、約5日に1件発生しています。



2 曜日別発生状況



3 場所別発生状況



その他による被害は91%

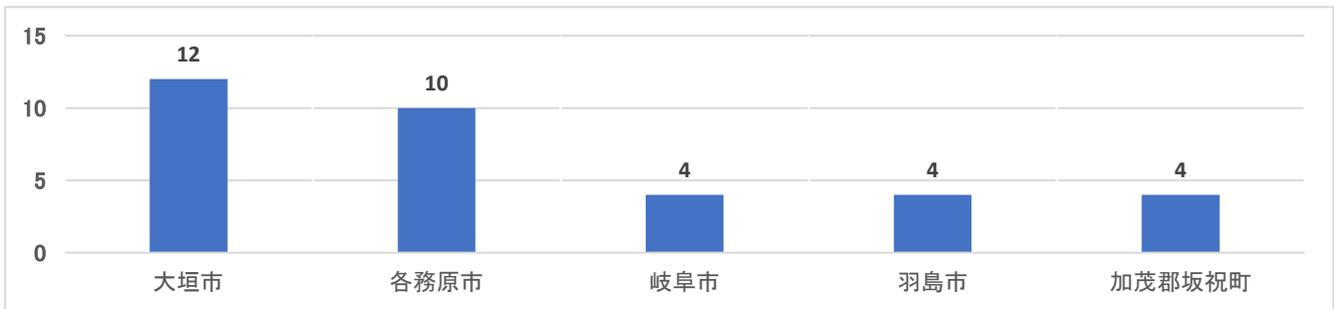
※ その他は住宅・会社・事務所など

4 地域別発生状況

地域別 認知件数	岐阜地域	西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域
	21	16	8	0	0



5 市町村別発生状況



～ 自販機ねらい被害防止のポイント ～

1. 自動販売機の設置場所付近に、防犯カメラやセンサーライト等の防犯機器を設置しましょう。
2. 店内や軒下でも被害に遭っていることから、自動販売機自体を堅牢化しましょう。
3. 自動販売機内の売上金等は、こまめに回収しましょう。

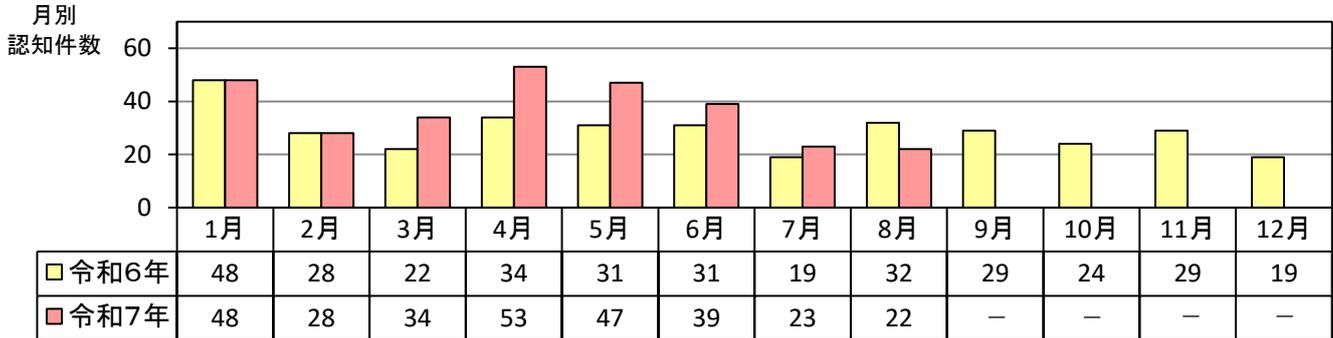
空き巣の発生状況(令和7年8月末)

侵入
犯罪

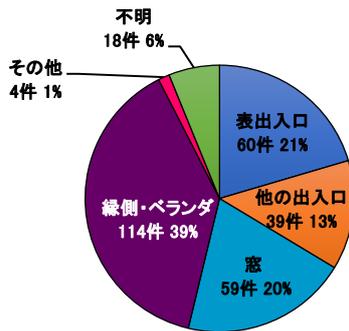
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
294	+49	+20.0%

令和7年8月末、県内における空き巣は294件発生、被害総額は約8億816万円で、前年比+49件(増減率+20.0%)となっており、1日平均約1件発生しています。

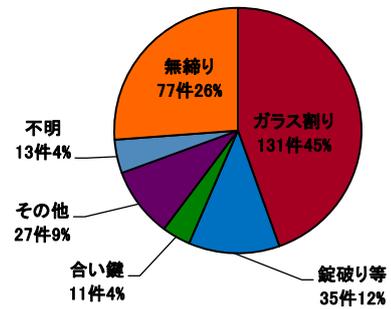


2 侵入箇所



出入口からの侵入による被害は34%

3 侵入方法



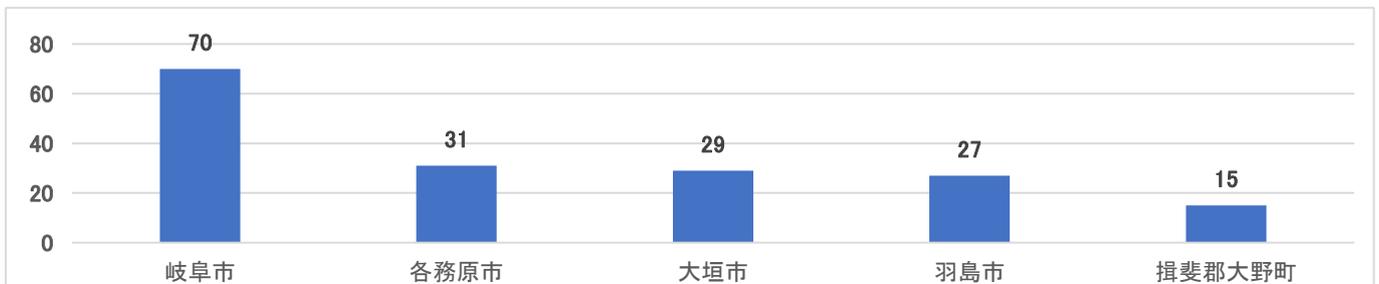
ガラス割りによる被害は45%

4 建物別発生状況

建物別認知件数	戸建住宅	集合住宅(低層)	集合住宅(中高層)	その他
	256	29	9	0

※ 低層 ~ 2階建て以下
中高層 ~ 3階建て以上

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



~ 空き巣被害防止のポイント ~

1. 外出するときは、必ず出入口、窓などに鍵を掛け、無締り箇所がないか確認しましょう。
2. 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。

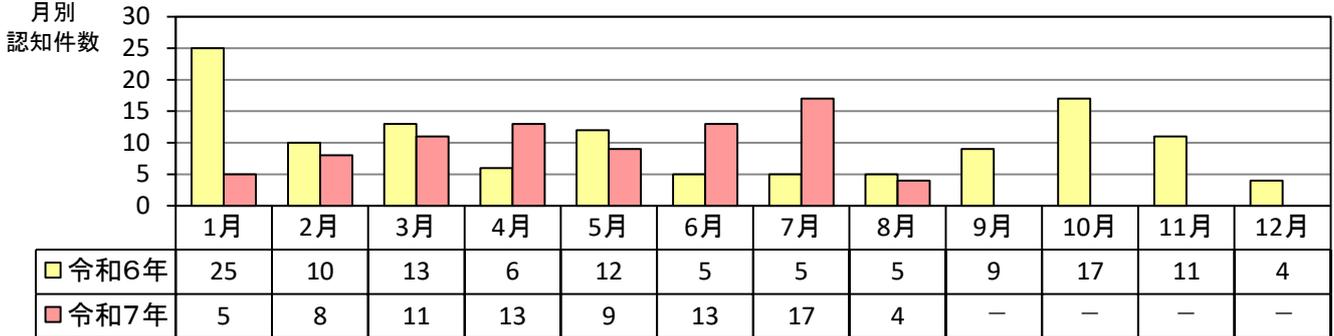
忍込みの発生状況(令和7年8月末)

侵入
犯罪

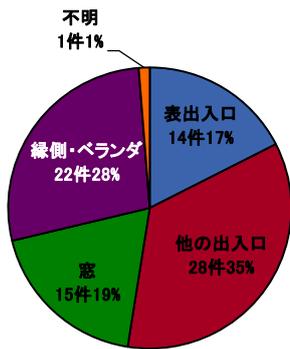
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
80	-1	-1.2%

令和7年8月末、県内における忍込みは80件発生、被害総額は約4,124万円、前年比-1件(増減率-1.2%)となっており、約3日に1件発生しています。

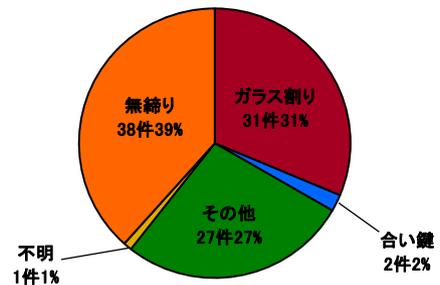


2 侵入箇所



出入口からの侵入による被害は52%

3 侵入方法



無締りによる被害は39%

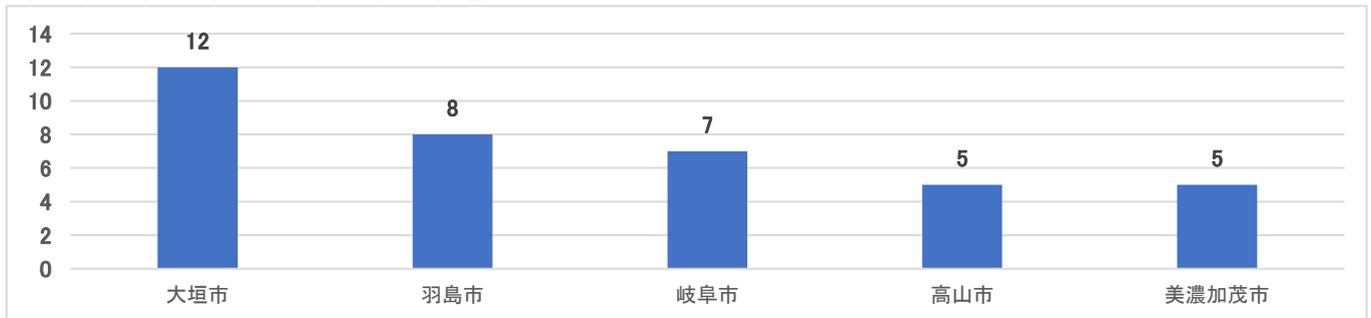
4 建物別発生状況

建物別 認知件数	戸建住宅	集合住宅(低層)	集合住宅(中高層)	その他の建物
	75	3	2	0

※低層～2階建て以下
中高層～3階建て以上

※戸建住宅が被害の対象となっている。

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 忍込み被害防止のポイント ～

1. 在宅時も出入口、窓など確実な施錠を習慣づけましょう。
2. 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。

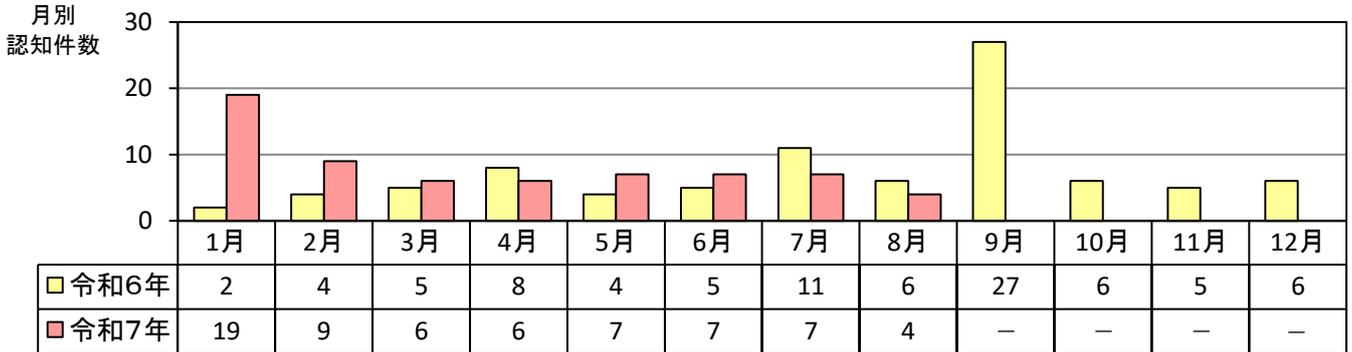
事務所荒しの発生状況(令和7年8月末)

侵入
犯罪

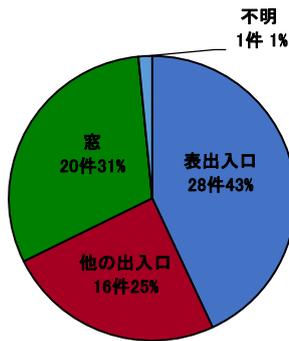
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
65	+20	+44.4%

令和7年8月末、県内における事務所荒しは65件発生、被害総額は約1,296万円、前年比+20件(増減率+44.4%)となっており、約4日に1件発生しています。

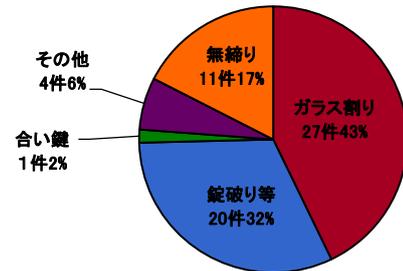


2 侵入箇所



出入口からの侵入被害は68%

3 侵入方法

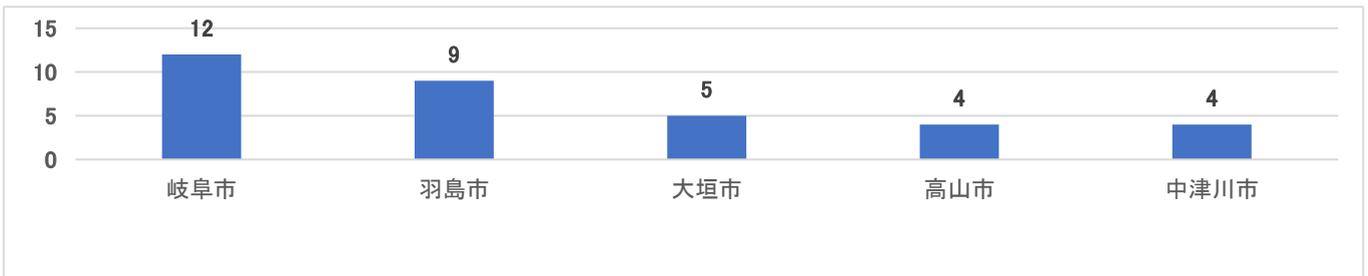


錠破り等による被害は32%

4 建物別発生状況

建物別認知件数	会社・事務所	飲食店	他の商店	その他
	58	0	0	7

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 事務所荒し被害防止のポイント ～

1. 事務所の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 事務所が無人となる休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

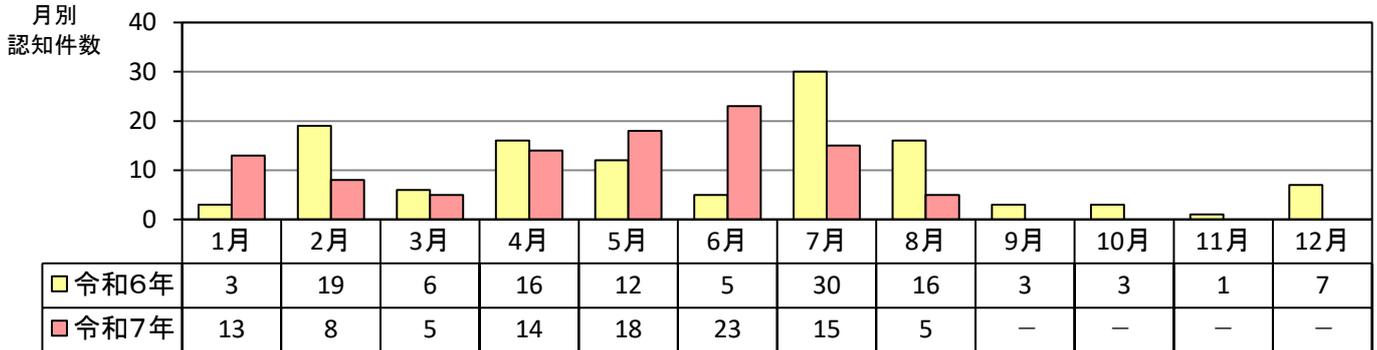
出店荒しの発生状況(令和7年8月末)

侵入
犯罪

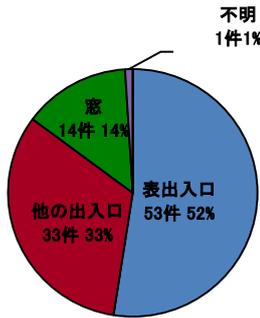
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
101	-6	-5.6%

令和7年8月末、県内における出店荒しは101件発生、被害総額は約2,185万円、前年比-6件(増減率-5.6%)となっており、約2日に1件発生しています。

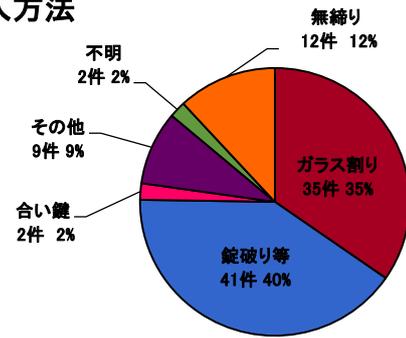


2 侵入箇所



出入口からの侵入被害は85%

3 侵入方法

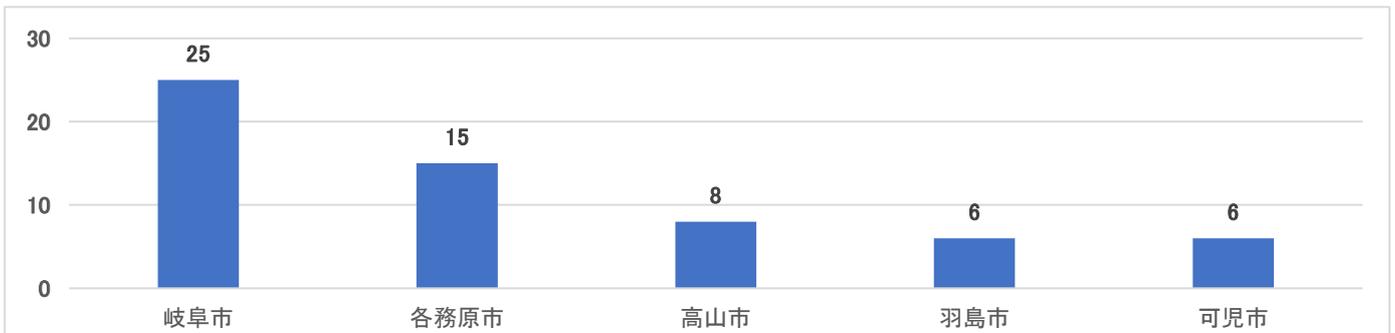


錠破り等による被害は40%

4 建物別発生状況

建物別認知件数	飲食店	他の店舗	会社・事務所	その他
	55	1	1	44

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 出店荒し被害防止のポイント ～

1. 店舗の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 店舗が無人人となる休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

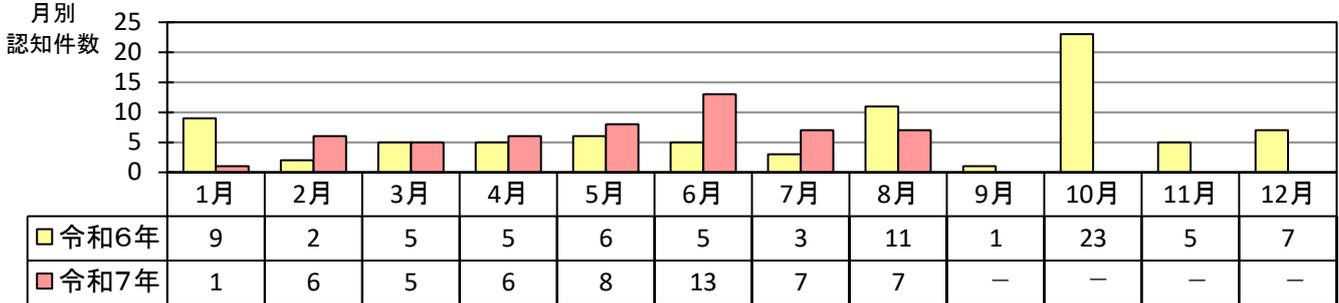
不同意わいせつの発生状況(令和7年8月末)

その他

1 認知件数

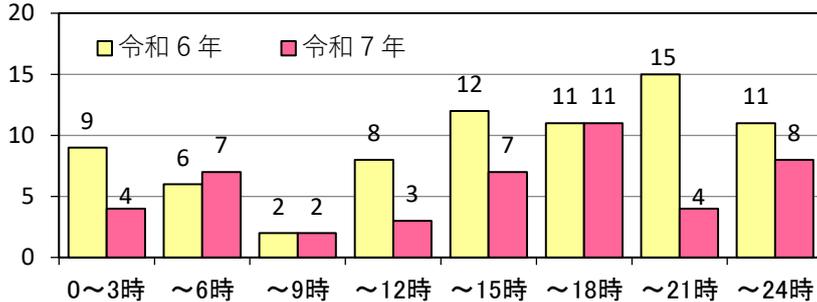
認知件数	前年比	増減率
53	+7	+15.2%

令和7年8月末、県内における不同意わいせつは53件、前年比+7件(増減率+15.2%)となっています。

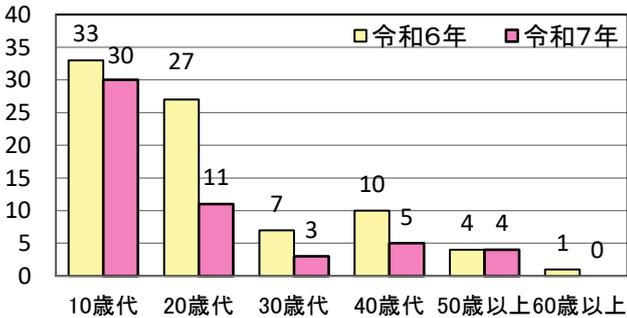


2 時間帯別発生状況

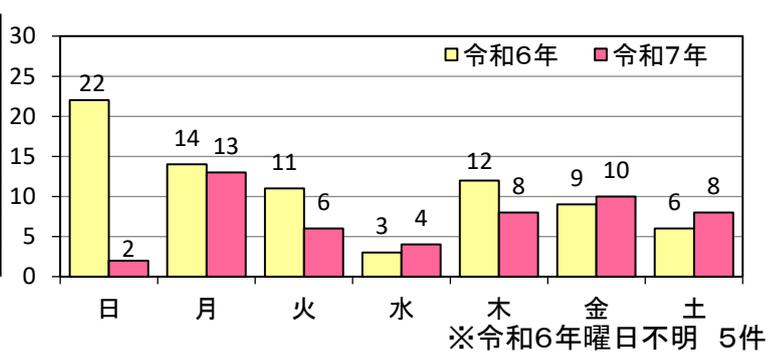
※令和6年 時間帯不明8件



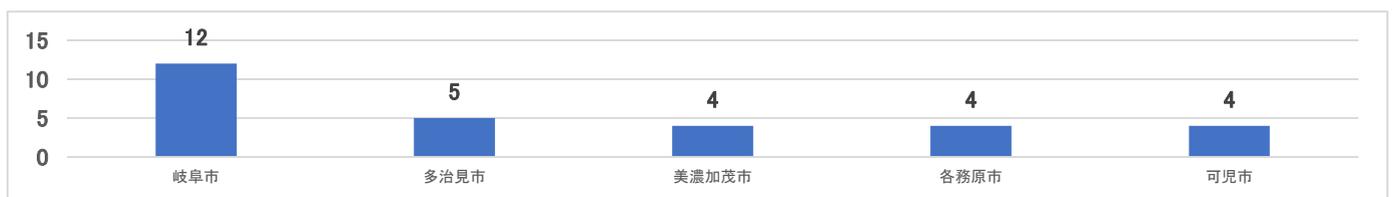
3 被害者の年齢



4 曜日別発生状況



5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



~ 不同意わいせつ被害防止のポイント ~

1. 夜間の外出は、街路灯に照らされ、人通りの多い道を歩きましょう。
2. 道路を歩く時は、イヤホン(音楽)などで耳を塞がず、周りを警戒しましょう。
3. 防犯ブザーなどの防犯器具を持ち歩きましょう。
4. 女性の一人暮らしの場合は、表札の名前を苗字にするなどして、一人暮らしを悟られないようにし、配達や集金を装う者が訪問しても、すぐには扉を開けず、ドアチェーンを掛けて対応するよう心掛けましょう。

万引きの発生状況(令和7年8月末)

その他

1 万引きの認知件数

(1) 令和7年8月末

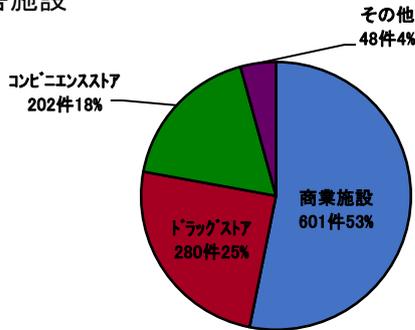
認知件数	前年比	増減率
1,131	+129	+12.9%

(2) 月ごとの推移(認知件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年	133	118	115	139	124	128	140	105	139	155	139	131	1,566
令和7年	137	111	146	143	162	131	174	127	-	-	-	-	1,131

令和7年8月末、県内の万引きの発生は1,131件、前年比+129件(増減率+12.9%)となっています。

2 被害施設



3 被害金額

順位	場所	被害金額(千円)
1	商業施設	13,186
2	ドラッグストア	6,415
3	その他	1,529
4	コンビニ	352

- ・ 商業施設における被害額が最も多い
- ・ ドラッグストアにおける一件当たりの被害額は、約23,000円

商業施設における被害は53%

※ 商業施設とは、デパート、ショッピングモール、スーパーなど

4 ドラッグストア対象万引き

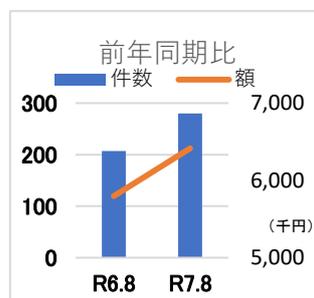
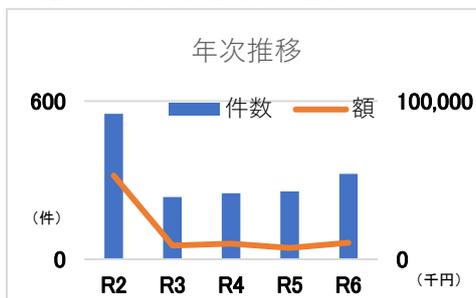
(1) 令和7年8月末

認知件数	前年比	増減率
280	+73	+35.3%

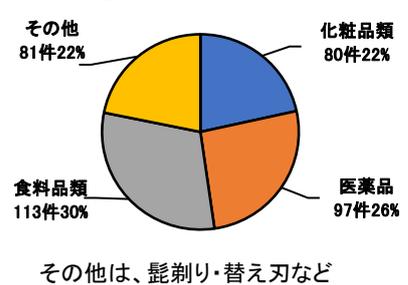
(2) 月ごとの推移(認知件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年	32	27	36	24	17	18	33	20	25	35	33	24	324
令和7年	41	27	35	29	36	37	41	34	-	-	-	-	280

(3) 認知件数と被害額の推移



(4) 主な被害品(複数計上)



～ 万引き被害防止のポイント ～

1. 来店客には、顔を見て「いらっしゃいませ」などと積極的に声掛けし、万引きをさせない雰囲気づくりに努めましょう。
2. 店舗内に死角が生じないように、商品の陳列棚等の設置場所や商品の陳列方法に配慮しましょう。